

令和4年度第2回豊山町中学校制服検討会議 会議録

1 開催日時 令和4年8月26日（金）午前10時から午前11時

2 開催場所 豊山町役場3階 会議室3・4

3 出席者 豊山町中学校制服検討会議委員

中学校教職員 豊山中学校校長	篠田弘男
中学校教職員 豊山中学校養護教諭	竹内哲子
中学校教職員 豊山中学校教諭	中川真介
小学校教職員 豊山小学校校長	千田秀樹
小学校教職員 新栄小学校校長	松永千鶴
小学校教職員 志水小学校校長	近藤良江
小中学校保護者代表 豊山中学校PTA会長	木野太一
小中学校保護者代表 新栄小学校PTA会長	横田康宣
小中学校保護者代表 志水小学校PTA副会長	太田真理子
学識経験者 スクールカウンセラー	平野真紀子
その他教育委員会が必要と認める者 豊山小学校生徒指導主任	池原拓

事務局

教育長	北川昌宏
教育委員会事務局長	安藤憲司
教育参事	小出泰司
学校教育課長	井戸茂治
教育専門員	小坂井美衣
学校教育グループ長	菊地智行
学校教育グループ主任	山永五香

4 次第 (1) 制服の課題について
(2) アンケートの実施について
(3) 生徒会からの意見聴取について

5 資料 資料1 制服の課題について（意見交換）
資料2 中学校制服の見直しに関するアンケート（案）
資料3 生徒会からの意見聴取について（案）

6 議事内容

事務局： 本日はお忙しい中、お集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より、「第2回豊山町中学校制服検討会議」を始めさせていただきます。
本日、荒尾委員からご欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。それでは、ここからの進行につきましては、千田委員長にお願いをしたいと思います。

【(1) 制服の課題について】

- 委員長： 議事に入る前に、議事録署名委員は竹内委員を指名しますのでよろしく
お願いいたします。それでは、議題1について事務局より説明をお願い
いたします。
- 事務局： (資料1に基づき説明)
現状の制服への感想等について、自由にご発言をいただき、検討したい
と考えております。
- 委員長： この議題については、委員の皆様から順番にご意見をいただきたいと思
います。
- 委員： 現状の制服について、男子冬服の二本線は2つの村が合併したことの証
であり、豊山中らしさといえる。夏期はコロナ対策、熱中症対策として
体操服登校をしており、夏服を着る機会が減っている。気候への対応と
しては、男子は冬服の下に着るものの規定が無いので、柔軟なところだ
と考えています。多様性への対応は、現状の制服では追いついていない
ため、検討の余地があると思います。制服を一通り揃えると保護者の経
済的負担が大きいというのが現状です。生徒指導上や学校運営上、現状
は大きな課題は無いと思います。現状の制服から改善点を考えていく必
要があります。
- 委員： 現状の制服の二本線の意味を始めて知りました。次の制服にも生かせれ
ば良い。多様性は現状対応できていないところがあります。ブレザーに
変わった場合、冬は中にどれくらい着込めるのかが気になります。
- 委員： 現状の制服は、西春日井地区内の中学校と統一が取れており、馴染み
があると思います。あまり着崩せないため、生徒指導としてはやりやす
いが、多様性への対応を考えると、共用の制服をこれから検討する必要
があると思います。特に女子冬服は季節の変わり目に対応しにくく、初夏
は暑い、オールシーズン対応できる制服があると良いと思います。
必要なものは残しつつ、新しい制服について検討できればと思います。
- 委員： 小学校の卒業生を見ると、制服により本人たちの意識が変わると感じて
います。制服を着るということは大きな意味があると普段から思ってい
ます。どのような選択肢やルールを作るのかが必要だと思います。子ど
もたちが使いやすい、着やすい、生活しやすい制服になることが一番で
すが、保護者の負担を極力抑えられるようにしていただきたい。
- 委員： スカートを履くのが嫌だという女子生徒の意見を聞いたことがあります
。また、スカートは寒いとも聞きます。保護者から、洗濯がしやすい
方が良いとの意見もありました。
- 委員： 感覚過敏がある生徒にとって、制服の生地が苦痛になることがあります。
苦痛を全て無くすことは難しいですが、なるべく負担が起きない生地を
選ぶといった、配慮するシステム作りが必要だと思います。同じ気候で
も温度の感じ方には個人差があるので、どのように配慮していくか検討
が必要だと思います。経済性への配慮は、当事者から声が上がりにくい

と思います。制服をリサイクルするシステムがあると良いのではないのでしょうか。

委員： 現状の冬服の袖にはよく砂が入り込むと聞きます。夏服を2セット購入しましたが、体操服登校のため終業式しか着ていません。清潔な制服を着てほしい気持ちがありますが、洗濯を繰り返すと生地がくたびれてしまいます。制服は何年度から変わる予定ですか。

事務局： 令和6年4月からの予定です。

委員： 兄から弟へ制服をおろしたいので、新制服も旧制服が使えるような移行期間を設けてほしいです。

委員： 自分が制服を着ていたときには、二本線が半周になっているのが気になっていました。昔よりも現状の制服は素材が良くなっていると思います。多様性の観点からは、時代遅れの制服だと思います。自分の子どもの肌が弱いので、白シャツならどこで購入しても良いなど、素材を選択できるようにしていただけると有難いです。体操服登校があり、今は制服を着る期間がそもそも短いです。ブレザーの良し悪しもこれから出てくると思うので、検討期間をもう少し延ばしてもよいのではないのでしょうか。

委員： 帰宅後、制服は脱いだ後に畳む必要がありますが、体操服はそのまま洗濯できるためとても楽です。何のため検討するのか、ということが決まっていないと意見がまとまらないと思います。女子からは制服を着るのに時間がかかる、動きにくいと聞きました。男子からはチェックのストラックス等デザインを格好良くしてほしいとの要望がありました。自分が中学生のとき、詰襟は肩が凝った記憶があります。自分は会社のTシャツを着ていて気分が上がるので、子どもたちも気分が上がるような制服や、着たい制服があれば学校生活が楽しくなると思います。

委員： 前回会議では選択肢を増やすという結論になったと思うが、移行期間など、柔軟な対応が必要でないのでしょうか。詰襟が苦しいという意見もあるので、柔軟に対応できればと思います。気候、経済性、多様性が重要だと思います。男女の区別を付けずに、自分で選べる形が良いのではないのでしょうか。

委員長： 制服があると、毎朝服を選ぶ手間が無く楽であり、経済的にも良いと思います。体操服登校で1日中着ていると衛生面で心配です。今は季節の変わり目に衣替えのインターバルを長めに取っており、昔に比べると柔軟な運用になっています。中高生の制服は公式行事に出席することができる服であることを感じています。地域全体の流れとしても、選択肢を増やす流れになっているように思います。

委員： 先ほどの意見に関して、現状も制服のリユースを行っています。ただ、今後新しい制服に切り替わると、卒業生から寄付されるまでの期間が発生するので、移行期間があると良いと思います。

【(2) アンケートの実施について】

事務局： (資料2に基づき説明)

委員長： ただいま事務局から説明がありましたが、この議題に関して何かご質問、ご意見などがありましたらご発言をお願いします。

委員： このアンケートの結果をどこまで反映させるのでしょうか。

事務局： 様々な意見が出てくるとは思うので、今後仕様書に反映したいと考えています。

委員： アンケートの目的や、個人が特定されるのかについて、記載があると良いと思います。意見の汲み取り方や、子どもたちに誤解が生じないような配慮をお願いします。

委員： 小学校4年生にはわかりやすい文章で送るのでしょうか。

事務局： 内容は同じで、子どもにわかりやすい文章にします。

委員： 制服があった方が良いという前提で設置された会議ですが、1問目の質問の仕方を検討できないでしょうか。趣旨説明が必要だと思います。「制服が無い方が良い」という意見を無視することになるのではないのでしょうか。2問目、3問目の順番は逆の方が良いと思います。

教育長： 目的を明確にしてアンケートを実施することは大前提だと考えています。制服ありきの議論ではありますが、制服の必要性について質問することで、幅広く意見を求めたいと思います。「無い方が良い」という方もいるとは思いますが、参考にさせていただきたいと考えております。2問目は仕様書作成の際、全てを重視することは難しいため、3つまで要望を確認するようにしました。アンケートの話とは別ですが、体操服登校は評判が良いため今後も継続し、従来の制服も着用可として柔軟に対応できればと考えています。

委員： アンケート結果を公開する予定はありますか。

教育長： 公開する予定です。

委員： 制服は無い方が良いという意見がもし多かった場合、結果を公開したときに制服変更の障壁になるのではないのでしょうか。

委員： 2問目の項目に多様性を追加してはどうでしょうか。

委員： 子どもにこのままアンケートを渡すと、「制服が無い方が良い」という意見が多くなるかもしれません。制服の歴史や意味を理解してもらう機会になれば、意義のあるアンケートになるのではないのでしょうか。

教育長： 一方的に教育委員会や学校が決めたと思われることを心配しています。強制的に着ているようには思っていない。アンケートは検討の1つの材料にしたいと考えています。制服がなぜ必要なのか、多様性などについて、制服を通じて生徒たちの議論や勉強の機会になれば良いと思います。春日井市の制服アンケートでは「あった方が良い」という意見が、保護者・生徒ともに多かったそうです。おそらく経済面の理由かと思いますが、子どもたちにはそういったことも勉強してほしいと思っています。

- 委員長： 多くのご意見、ありがとうございます。委員の意見を参考にしつつ、事務局で内容をまとめてください。
男女共用のスラックスなのか、男女別のスラックスになるのかによって4問目の結果が変わってくるのではないのでしょうか。
- 委員： 校則等ではパンツではなくスラックスという表記がされていますが、児童や生徒には分かりにくいのではないのでしょうか。男女共用、または男女別とするのか、言葉を選んでいただければと思います。
- 委員長： 以上の意見も踏まえて事務局で検討していただければと思います。

【(3) 生徒会からの意見聴取について】

- 事務局： (資料3に基づき説明)
- 委員長： ただいま事務局から説明がありましたが、この議題に関して何かご質問、ご意見などがありましたらご発言をお願いします。
- 委員： 生徒に事前に説明・周知する必要があります。生徒議会で議論する等、どのように学校で事前準備を進めていけばよいのでしょうか。
- 委員： かなり厳しい日程だと思います。生徒会役員だけが自由に意見を述べるだけであれば可能だと思います。
- 委員： 個人情報が出ない形で、アンケート結果を生徒に示すことができれば良いと思います。全ての結果が出てから段階的に行うには、この日程では厳しいと思います。生徒のみのアンケート結果を出して、その結果から生徒会役員から意見をもらうような形でも良いのではないのでしょうか。
- 委員長： 生徒への周知や手順など、再度中学校と事務局で調整する方向でよろしいのでしょうか。
- 委員： (同意)
- 委員長： ではそのように進めていただくようお願いします。
- 委員： 生徒会からの意見聴取について、保護者の参加も可能であればお声がけいただけますか。
- 委員長： 事務局で検討をお願いいたします。多くのご意見、ありがとうございます。それでは、本日の議題につきましては、これをもって終了いたします。
- 事務局： 本会議について、次回は10月中旬に開催したいと考えています。後日、日程を調整し、案内を発送いたしますので、よろしく願いいたします。

上記のとおり令和4年度第2回豊山町中学校制服検討会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、委員長及び委員が署名する。

令和4年10月14日

千田委員長

竹内委員